

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
Kasagi@eolas-net.ne.jp

謹賀新年

◆2002年の新春をお元気で
お迎えのことと心からお慶び申
上げます。

◆今年ゆるやかに景気が回復
するといわれていますが、依然
厳しさは続くようです。今年こ
そ、市民生活に安心感を取り戻
す年でありたいと願っています。

◆お正月の冷えた空気は何となく
心地よいものがあります。

落ち着いた時代だけに、立ち
止まって静かに深呼吸すること
も大切です。澄みきった空気を
胸いっぱい吸い、少しゆっくりと
考え、一日一日をていねいに
生きていきたいものと思っています。

◆早いもので、私の任期も残す
ところ約1年となりました。
「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と
共に泣ける」市議活動が私の
理想です。皆さまのご指導を
心からお願いいたします。

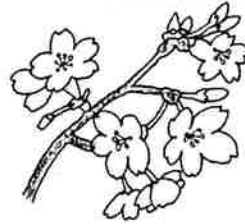
◆本年も、皆さまにとってよき
年でありますようご祈念いた
します。

2002年 午年元旦

旭川市議会議員 笠木かおる



旭山を動物園と桜の名所に



旭山は幼き頃からの、私の最大の遊び場
でした。親兄弟で毎年いった花見、昭和
42年の動物園オープンセレモニー、色々
な思い出があります。

旭山動物園入園者は50万人を超
えました。ペンギン館やオランウータン
の空中散歩など人気です。今年はホッキョク熊を水中のなかから
見る施設も整備されます。樹木も成長し絶好の憩いの場です。
動物園と隣接する「三浦庭園」の散策も、静かなブームです。

旭山にはいま、2,400本の桜が植えられていて、旭川一
の桜名所です。さらに、5千本から一万本の桜を植樹し、「旭
山を日本一の動物園と桜の名所」にと、日々、夢を描いている
一人です。

昨年は「旭川に日本一の桜の名所を作ろう会」の藤井諄一代表と、
大いにそうした構想を語り合いました。藤井代表は旭川
商業高校の大先輩でもあります。

微力ですが、「夢を形」に実現するため、しっかり頑張りたい
と思っています。

シックハウス研究住宅を視察しました



11月5日、小宮山洋子参議院議員らと神居町共栄の斎藤牧
場にある化学物質過敏症研究住宅を視察しました。

化学物質過敏症は、身の回りに存在する超微量の化学物質を
取り込んだだけで、通常の生活を送ることのできなくなる、極
めて深刻な現代病です。今は医学的な治療も解明されてなく、
「転地療養」が最も有効とされています。

神居の研究住宅は、日本初の「産・学・官」共同研究施設と
して、患者さんはもとより、全国的に注目されています。

14年度予算要望を菅原市長に行ないました

正月が明けますと、14年度旭川市予算の編成
がはじまりますが12月26日、31項目の予算
要望を菅原市長に行ないました。民主党旭川の
政策調査委員長立場で行なったものです。

特に、速効性ある雇用創出に重点を置いた予算編成を求めると
ともに、小規模企業や中核農家への利用しやすい融資制度創
設も要望しました。

また、行財政改革では、無駄をなくした効率的なサービスの
提供と第3セクターへの事業発注の見直しなども指摘しました。
さらに、政策全般において、「広域行政」や「行政の文化化」
「男女共同参画」の視点をもつことや、最大限「緑」を取り入
れたまちづくりを行なうことなども要望しました。

「陳情・相談」お気軽に申しつけてください

笠木かおるの自宅で「市民相談室」を開設しています。
一緒になって問題解決に努力しますので、お気軽にご相談
ください。

☎32-4863です

子供の命に「敵・味方」は必要なのでしょうか



昨年は、世界も暗いニュースがかけ巡りました。
アフガンでは、いまも40万人の子供たちが飢
えと寒さのなかで正月を迎えています。

子供の命に「敵・味方」は必要なのかと考え
させられます。

11月24日、買物公園にたち「2000円で
10人の子供たちが暖かい正月を迎えること
ができます」と、アフガニスタン難民募金を市民
に呼びかけました。

第7小学校の閉校に想う

第7小学校が今年3月に閉校
するが決まりました。

明治35年に開校以来、ち
ょうど100年目での廃校です。

私は旭川小学校の卒業ですが、
中学から第7小のみんなと一緒に
学んだだけに、寂しいもの
があります。

議員になってから第7小の学芸会、運動会、卒業式には欠か
さず出席させていただきましたが、学校と地域と父兄が一体と
なった運営に学ばされるものがありました。

「百年間、ありがとうございました」。



愛子様のご誕生を祝いました

12月23日、敬宮愛子様のご誕生を祝う催
しが旭川神社で行なわれ出席しました。

芦原高穂宮司の「子供が育たなければ、高齢者福祉は低下の
一方」とのあいさつに、現実を感じました。



景気対策などをただしました

旭川市議会の第4回定例会は12月4日から19日までの、16日間、開かれました。
以下、一般質問で取り上げた私の質問内容(要旨)を報告いたします。



速効性のある景気浮揚策を

- (笠木) 道立寒地住宅都市研究所が4月にオープンするが、地元経済効果をどうあげるか。
- (答弁) 「産・学・官」のネットワークをつくり、経済効果をあげていきたい。
- (笠木) 経済の活性化のため、いま市民に最も訴えたいことはなにか。行政として具体的に何をなすか。
- (答弁) 挑戦する意欲、がんばる気持ちを持つことが最も大切。全庁を横断する景気浮揚施策を推進するとともに、外部の人材を含めた景気対策体制をつくりたい。

【解説】

待望の道立寒地住宅都市研究所が4月にリサーチパーク内にオープンします。寒地研と旭川産業高度化センター、地元企業の連携による経済効果が期待されています。



市内の有効求人倍率は0.35。求職10人に対し求人は0.35人と厳しさが続いています。就職希望の高校生も、半数以上が就職が決まらず正月を過ごしています。

市も機構改革で景気対策担当部長を配置するなどして、経済・雇用対策に全力をあげています。

農業・農村の振興

- (笠木) 北農中央会と旧永山農協側との間で追加負担金の問題が生じているが、旭川市としての認識は。
- (答弁) 当事者間で真摯に話し合い、解決されるものと理解している。
- (笠木) 中山間地の直接支払い交付金制度は、対象地域に不公平はないか。
- (答弁) 国に対し、所得保証制度の拡充を要望していく。
- (笠木) 狂牛病対策で、市民に安全性をアピールする必要があるのでは。
- (答弁) 市民広報12月号にチラシを折り込みたい。

【解説】



旭川市農協と旧永山農協の合併の際、北農中央会が旧永山農協に1,500万円の追加負担金を求めていたことが問題となっています。合併を支援してきた旭川市も知らなかったことで、旭川市も「理解できないこと」。

予定通り合併されたのだから追加負担金は、旧永山農協側に返還されるべきです。

農業政策は価格保証から所得保証へと転換してきています。今回の所得保証は東鷹栖地域だけが対象で、同等あるいはそれ以上の条件不利地域が多数存在しており、対象基準の見直しが求められています。

江丹別環境対策協議会の設置を

- (笠木) 江丹別住民と公平な環境専門家、行政による「江丹別環境対策協議会」を設置すべきでないか。
- (答弁) 前向きに検討する。
- (笠木) 事業系ゴミの分別は、平成15年開始の目標を持つべき。リサイクル団地の早急な整備も必要だ。
- (答弁) 事業系ゴミの分別は、15年から随時行なっていきたい。リサイクル団地構想の基本計画策定が必要と認識している。

【解説】

事業系ゴミの分別による減量化、資源化を強く主張してきましたが、「15年」という目標年度を初めてひきだしました。それに合わせてリサイクル団地の整備も必要ですが遅れており、早くても整備は17年頃になる予定です。

高齢者福祉の充実と住宅支援

- (笠木) 高齢者配食サービスを全市的に行なえないか。
- (答弁) 14年度から全市的に行なう方向で検討したい。
- (笠木) バスを利用できない地域を限定して、ワンコインバスとタクシー補助券の選択制度を導入できないか。
- (答弁) 研究課題にしたい。
- (笠木) 市営住宅の入居待機者が600人を超えている。いわゆる「生活弱者」への住宅支援策を検討すべき。
- (答弁) 高齢者住宅の建設補助など、前向きにすすめたい。

【解説】



75才以上の一人暮らしの方々を対象とする配食サービス事業が本年度から全市的に行なう見通しとなりました。「農村地帯は遠いので対象外」とならないよう主張しています。

年間3億円の予算で70才以上の高齢者は100円でバスに乗れる事業を行なっていますが、バスを利用できない地域にお住まいの方々を対象に、タクシー補助券の選択もできる制度を求めています。

高齢者や障害者、母子・多子世帯で市営住宅に入りたい方が増えています。緊急避難的に民間アパートの借上げ制度をつくり、住宅支援できないかと働きかけています。

除排雪体制の充実を

- (笠木) 堆雪場周辺住民からの苦情が多い。常設の堆雪場を整備する必要があるのでは。
- (答弁) 年々、堆雪場が少なくなってきており、常設の堆雪場が必要と考えている。
- (笠木) 平坦部の交差点のロードヒーティングは必要か。
- (答弁) 段差ができたり、イボイボ路面になるなど苦情もある。平坦部の新設は基本的に行なわない。

【解説】

年間、約20億円の予算で除排雪が行なわれています。生活道路や通学路の除排雪に重点を置いた除排雪体制が大切です。

限られた財源で、平坦部の交差点などにロードヒーティングの整備は、もう必要でないと主張しています。



共栄小の校舎が新しくなります

第4会定例会で、共栄小学校の増築に3億円の補正予算がつきました。今年、増築され、手狭だった校舎が広がります。森田武千代田市民委員会会長や学校関係者、父兄のみなさんと一緒に運動してきただけに、大変嬉しく満足感がありました。

大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。

